

長崎無線電報サービスセンターのあゆみ

1908年(明治41年)7月1日

大瀬崎無線通信局開設

1932年(昭和9年)11月16日

大瀬崎から長崎(諫早)へ移動、長崎無線電信局開設

1956年(昭和31年)6月1日

印刷電信を自動中継交換方式へ変更

1987年(昭和62年)5月31日

狭帯域短波印刷電信方式運用開始

1988年(昭和63年)7月31日

SMART(電報集配信処理装置)運用。

銚子・長崎の2局体制

1993年(平成5年)7月12日

TXAS(電報自動処理装置)の導入

1999年(平成11年)1月31日

NTT長崎無線電報サービスセンター閉鎖



電信室内部